

まちづくり計画に関する町民アンケート 結果報告書

令和5年 11 月

岩手県紫波町

目 次

1. 調査の概要	2
1.1 調査の目的	2
1.2 調査の対象者	2
1.3 調査の実施方法	2
1.4 調査の期間	2
1.5 回収結果	2
1.6 留意事項	2
2. 回答者の属性	3
2.1 年齢	3
2.2 性別	3
2.3 就業形態	3
2.4 就業分野	4
2.5 居住地区	4
2.6 通算居住歴	4
2.7 住居種類	5
2.8 世帯構成	5
3. 調査の結果	6
3.1 将来居住の意向	6
3.2 生活利便施設の利用状況	10
3.3 公共交通の利用条件	16
3.4 まちづくりの課題	17
3.5 まちづくりの意見やアイデア	18
(参考)	
広報紙「しわねっと」8月号折り込みアンケート	22

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

紫波町では、都市計画の基本方針を定めた「紫波町都市計画マスタープラン」が平成 25 年の策定後 10 年経過したことから、この間の社会情勢の変化などを踏まえた中間見直しを行うこととしています。

また、人口減少・高齢化社会が進行する中でも持続可能なまちづくりを目指すため「紫波町立地適正化計画」を新たに作成することとしており、これら両計画の基礎資料とするために実施するものです。

1.2 調査の対象者

年齢、性別を問わず、町内在住の「全町民」としました。

なお、本報告書の内容とは別に、中学生を対象としたアンケートも実施しました。

1.3 調査の実施方法

グーグルフォームによるweb調査を基本としながら、紙調査票も併用し、回答者が選択できるようにしました。紙調査票は、町広報紙を活用して折り込み配布し、町内 9 か所の地区公民館に回収ボックスを設置して回収しました。

周知については、町ホームページに記事を掲載したほか、X（旧ツイッター）、しわなび、防災&くらしナビといった SNS も活用して行いました。

1.4 調査の期間

令和 5 年 8 月 1 日～9 月 10 日

1.5 回答結果

紙調査票配布数（※1）	12,891 部
紙調査票回答数（※2）	90 件
web 回答数	311 件
合計回答数	401 件

※1：町広報紙配布対象世帯数

※2：地区公民館回収ボックス脇に備え付けた予備紙調査票による回答を含む。

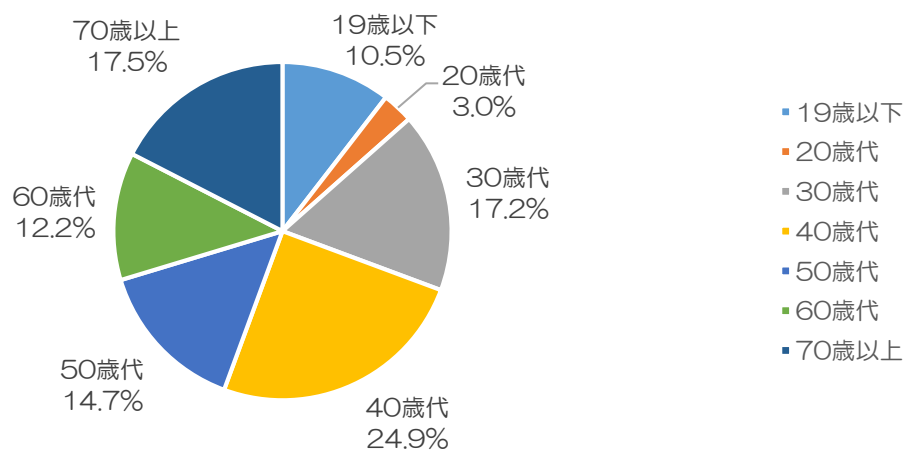
1.6 留意事項

- ・次項からのグラフに表示する各項目の割合は、「N」を全体数として算出しており、「N」は各設問ごとの有効回答数を表しています。
- ・複数回答可の設問は、全ての比率を合計すると 100%を超えることがあります。

2. 回答者の属性

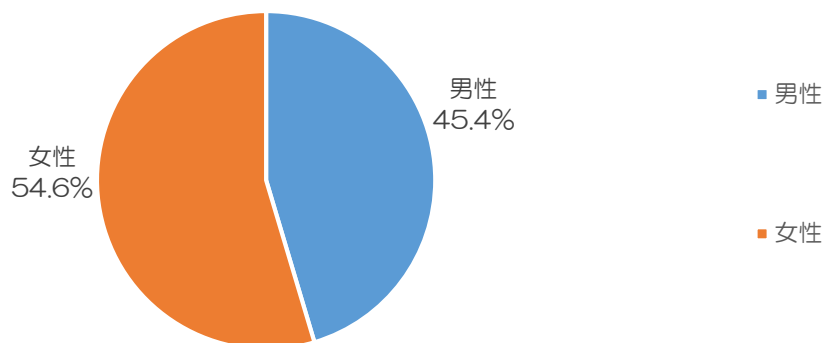
2.1 年齢

問1. あなたの年齢を選んでください。(N=401)



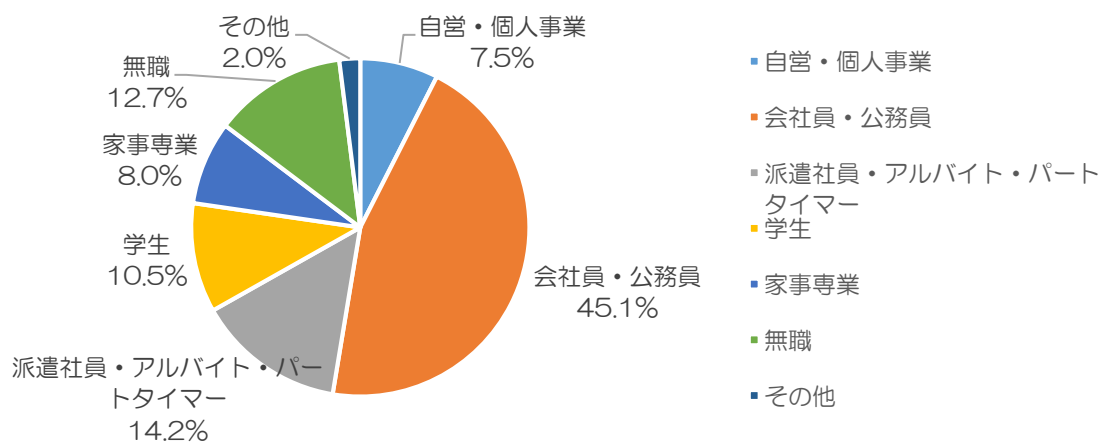
2.2 性別

問2. あなたの性別をお答えください。(N=401)



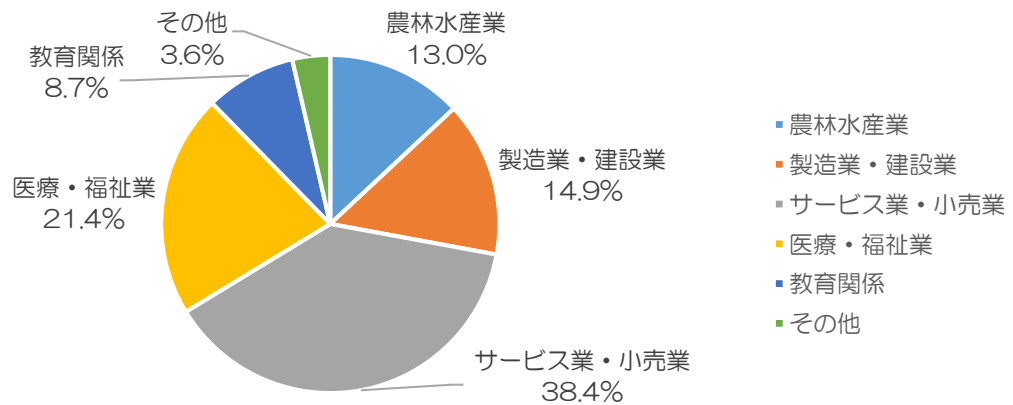
2.3 就業形態

問3. あなたの就業形態をお答えください。(N=401)



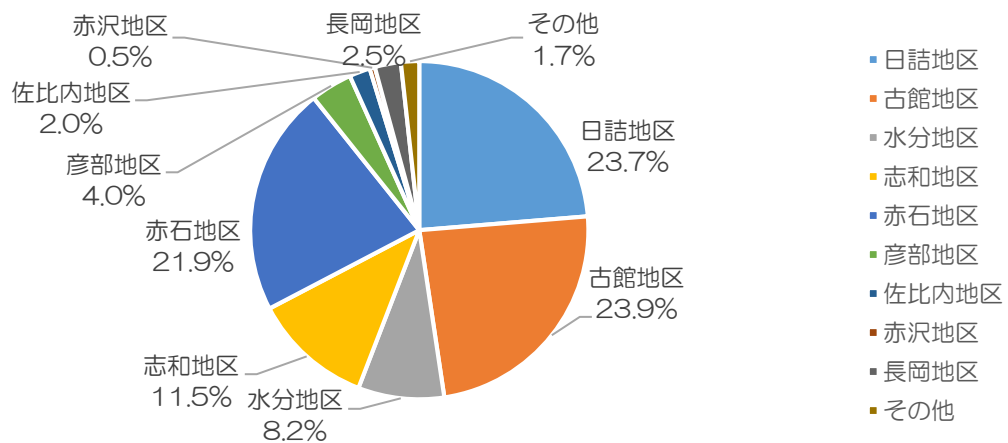
2.4 就業分野

問4. あなたの就業分野をお答えください。(N=276)



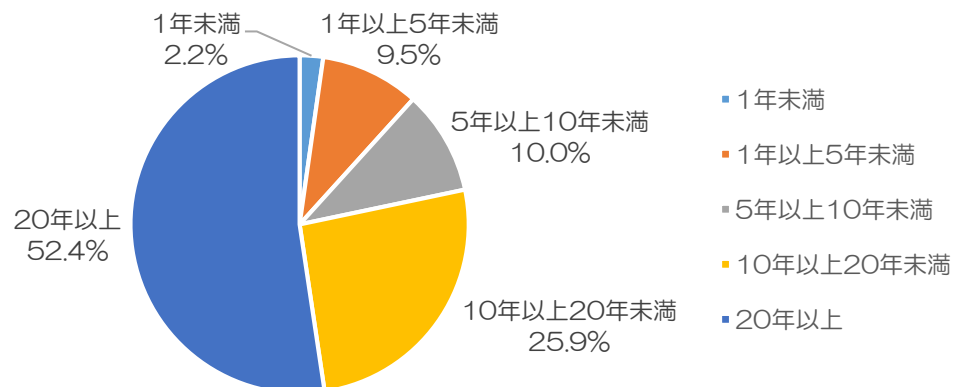
2.5 居住地区

問5. あなたの居住地区をお答えください。(N=401)



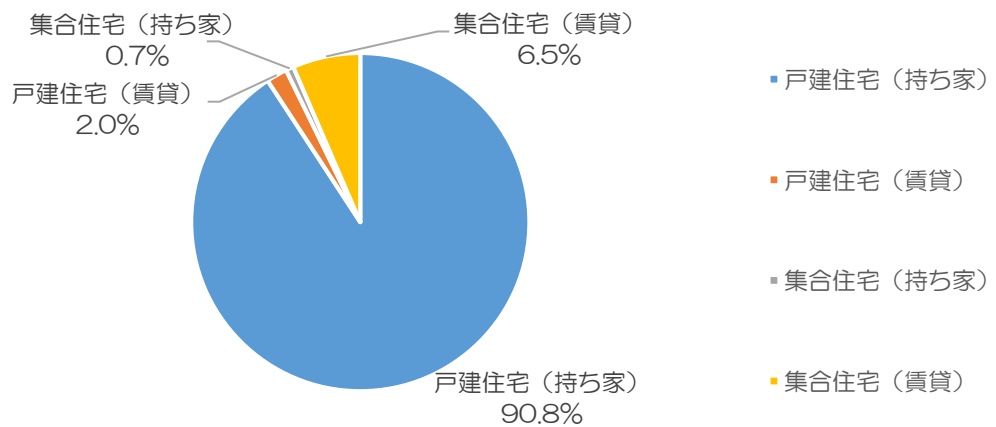
2.6 通算居住歴

問6. あなたの紫波町での通算居住歴をお答えください。(N=401)



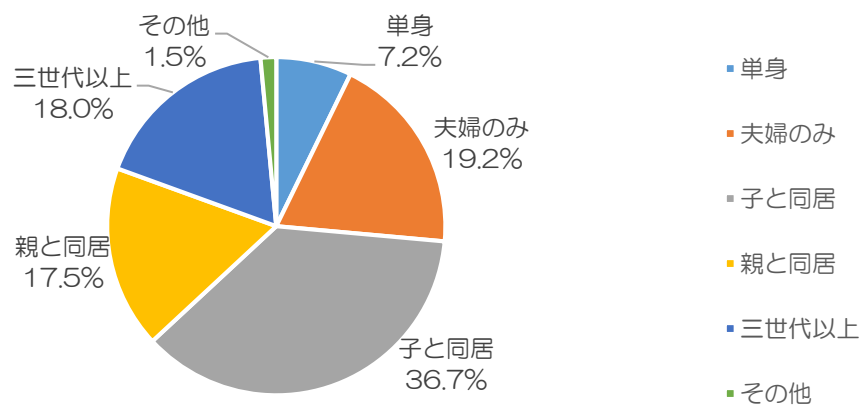
2.7 住居種類

問7. あなたのお住いの種類をお答えください。(N=401)



2.8 世帯構成

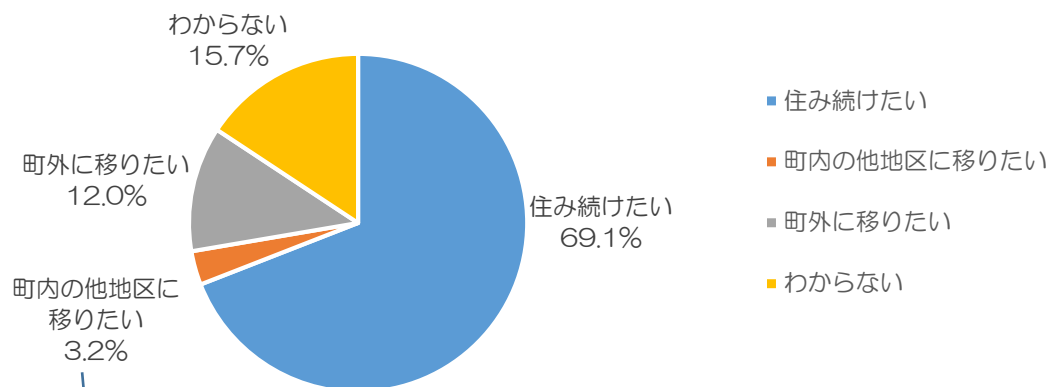
問8. あなたの世帯構成をお答えください。(N=401)



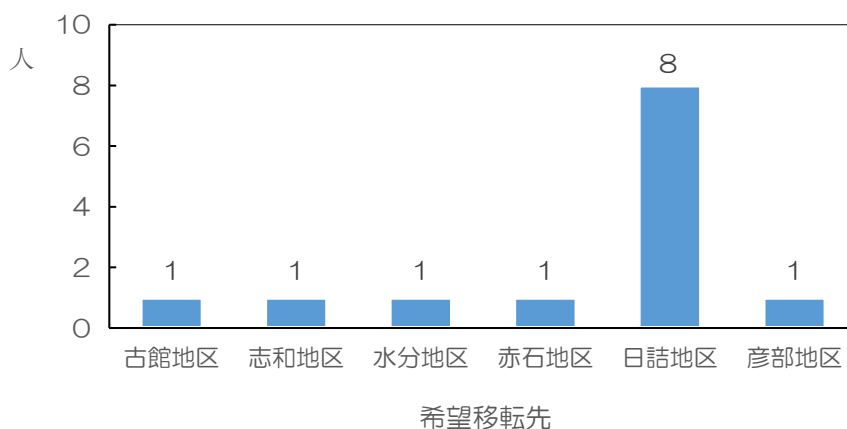
3. 調査の結果

3.1 将来居住の意向

問9. あなたは現在お住いの地区に住み続けたいと思いますか。(N=401)



「町内の他地区に移りたい」方の希望移転先 (N=13)

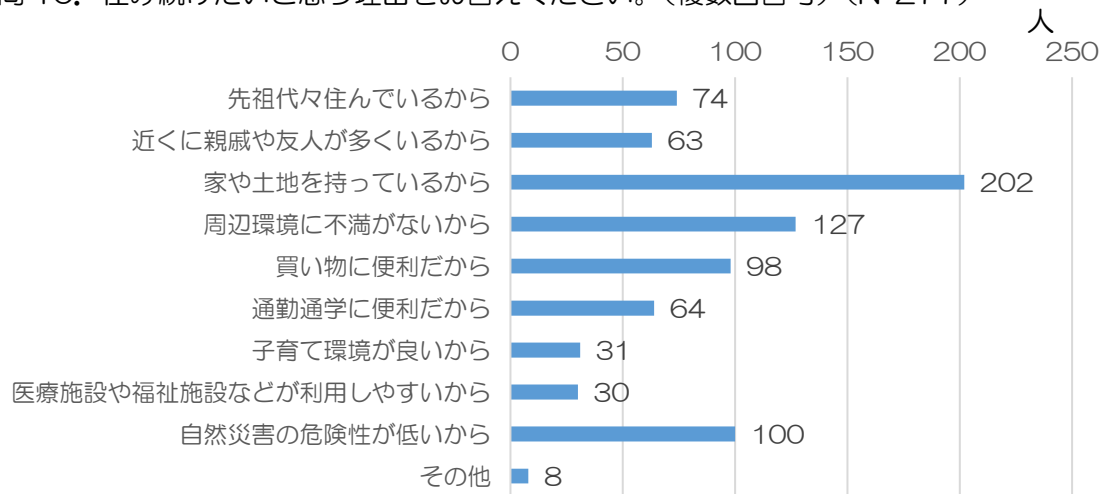


★回答者の約7割が現在住んでいる地区に「住み続けたい」としている一方で、12%の方が「町外に移りたい」としています。また、15.7%の方が「わからない」とし、状況によっては移転する意向があるものと考えられます。

★「町内の他地区に移りたい」とした13名の回答者のうち約6割が日詰地区を移転先に希望しています。

(問9で「住み続けたい」と回答した方のみ)

問 10. 住み続けたいと思う理由をお答えください。(複数回答可)(N=277)

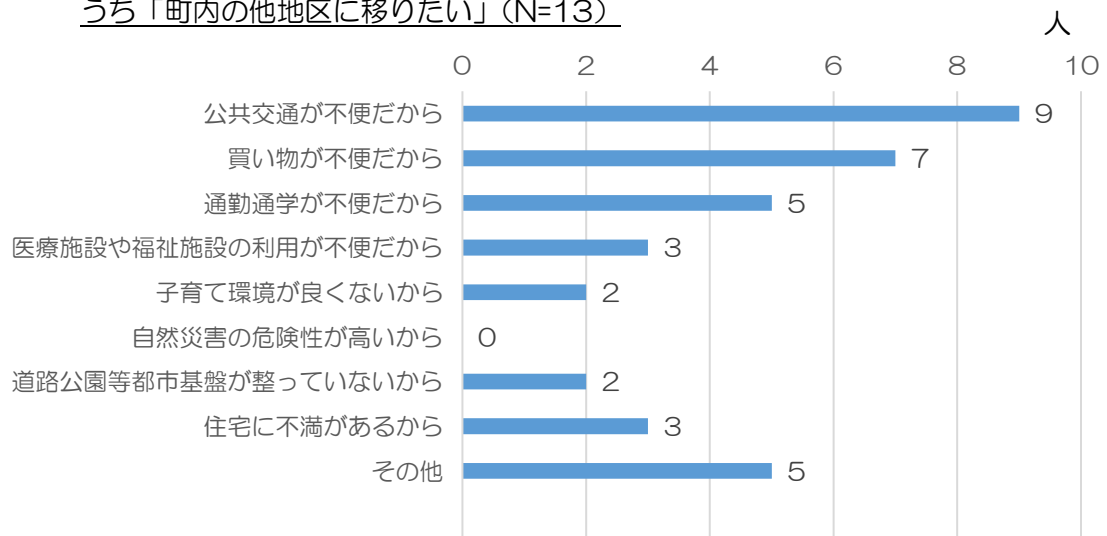


★現在住んでいる地区に「住み続けたい」理由は、「家や土地を持っているから」が最も多く全体の7割強を占めており、次いで「周辺環境に不満がないから」「自然災害の危険性が低いから」の順となっています。

★「その他」としては、複数の方が「自然の豊かさ」を要因としています。

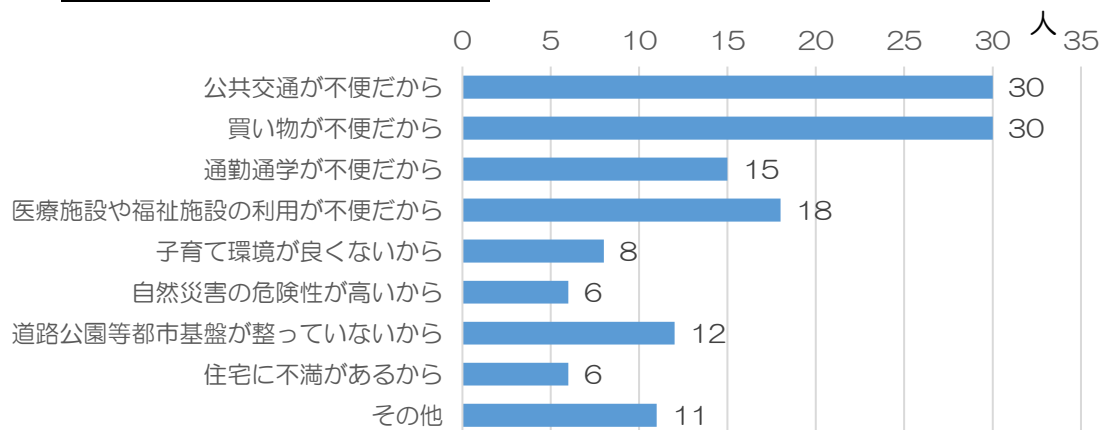
(問9で「町内の他地区に移りたい」「町外に移りたい」と回答した方のみ)
 問 11-1. お住いを移したいと思う理由をお答えください。(複数回答可)

うち「町内の他地区に移りたい」(N=13)



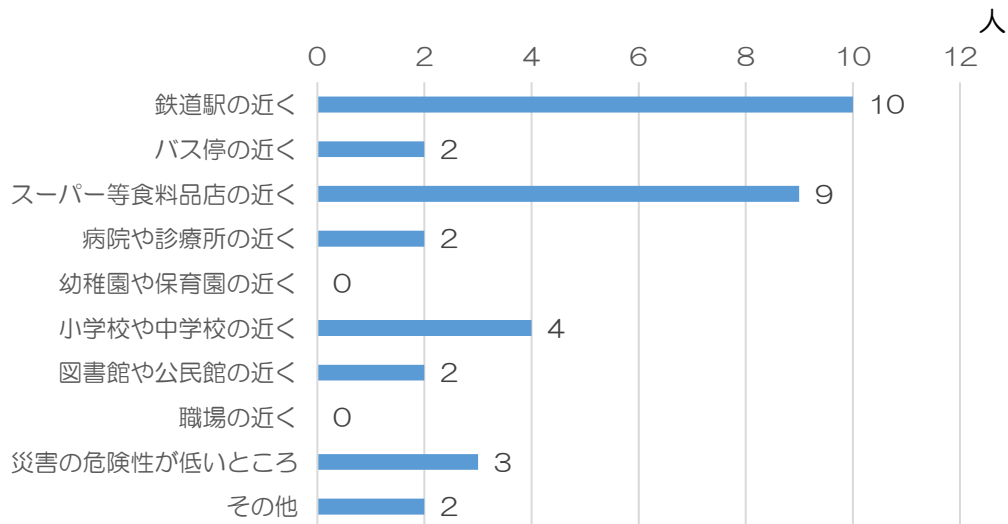
★住まいを移したい理由は、「公共交通が不便だから」が最も多く、次いで「買い物が不便だから」「通勤通学が不便だから」の順となっています。

うち「町外に移りたい」(N=48)

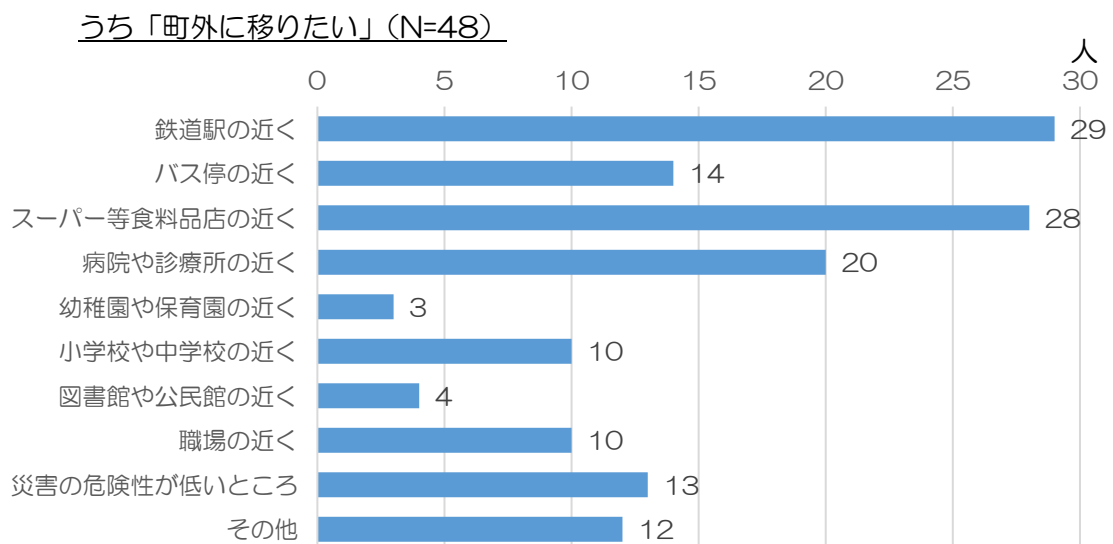


★住まいを移したい理由は、「町内の他地区に移りたい」方と同様に「公共交通が不便だから」「買い物が不便だから」が最多ですが、3番目は「通勤通学が不便だから」に代わり「医療施設や福祉施設の利用が不便だから」の順となっています。

(問9で「町内の他地区に移りたい」「町外に移りたい」と回答した方のみ)
 問11-2. お住いを移す場合、どのような場所が良いと思いますか。(複数回答可)
うち「町内の他地区に移りたい」(N=13)



★転居先の条件としては、「鉄道駅の近く」が最も多く、公共交通としての鉄道への期待が大きいと考えられます。次いでほぼ同数で「スーパー等食料品店の近く」となっています。



★転居先の条件としては、「町内の他地区に移りたい」方と同様に「鉄道駅の近く」が最も多く、次いでほぼ同数で「スーパー等食料品店の近く」となっています。

3.2 生活利便施設の利用状況（N=401）

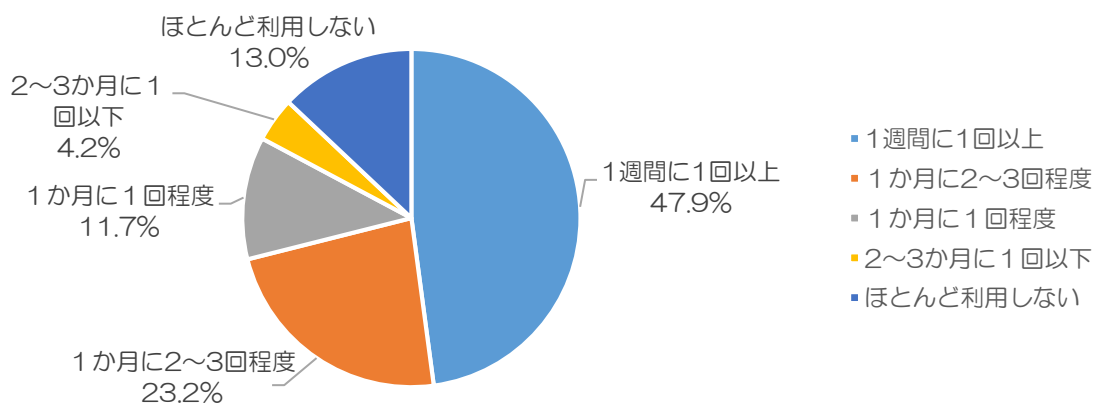
問 12. あなたは日常生活の中で実際にどのような施設を利用していますか。

次の6種類の施設ごとに、①利用頻度、②所在地、そこに行くときの③主な移動手段をお答えください。

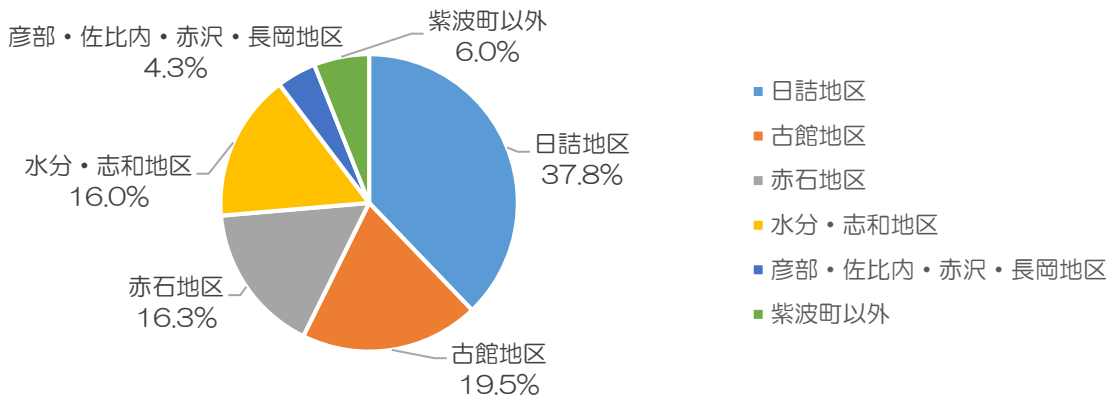
なお、①で「ほとんど利用しない」を選択した場合は②③の回答は不要です。

1. コンビニエンスストア・個人商店

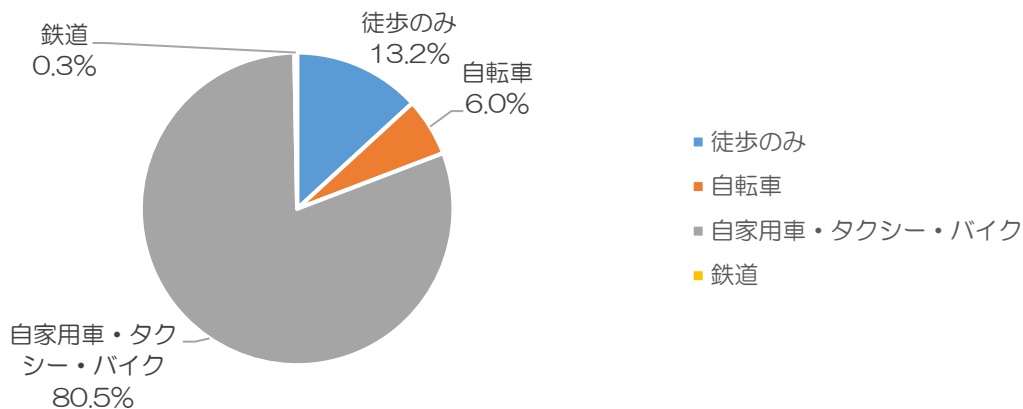
①利用頻度（N=401）



②所在地（N=349）

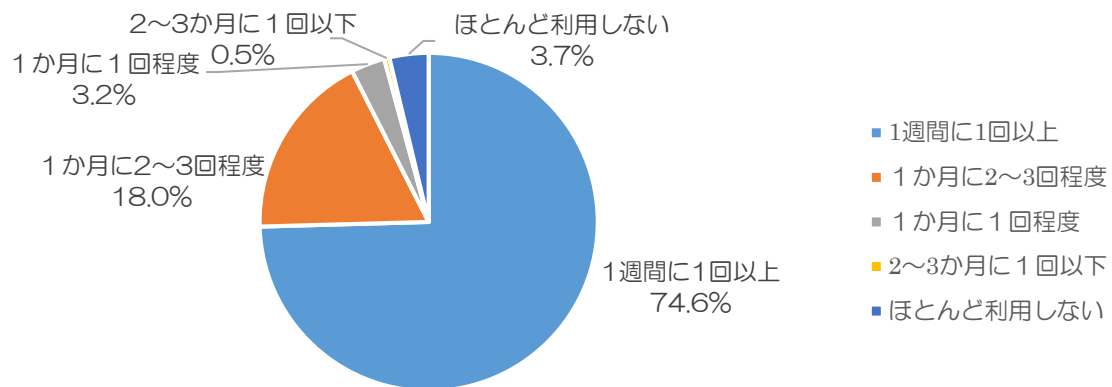


③主な移動手段（N=349）

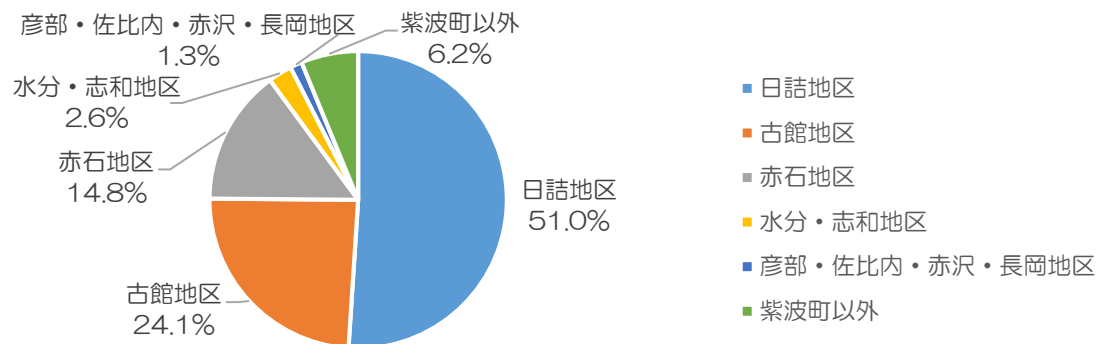


2. スーパー・ドラッグストア・ショッピングセンター

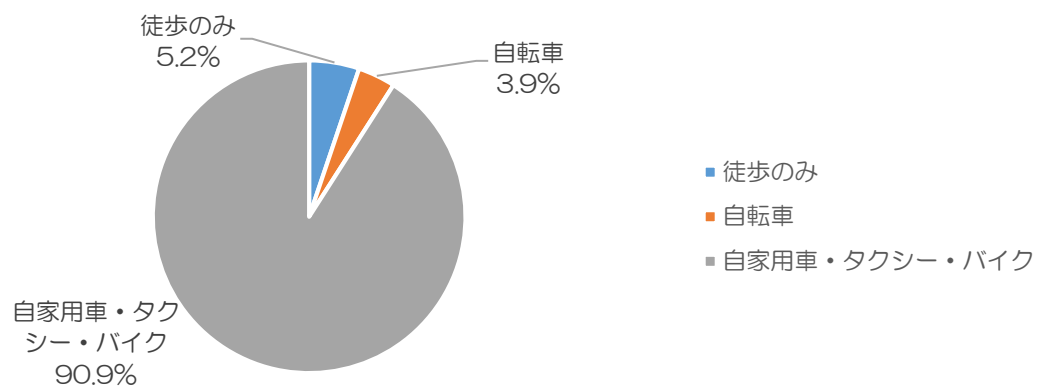
①利用頻度 (N=401)



②所在地 (N=386)

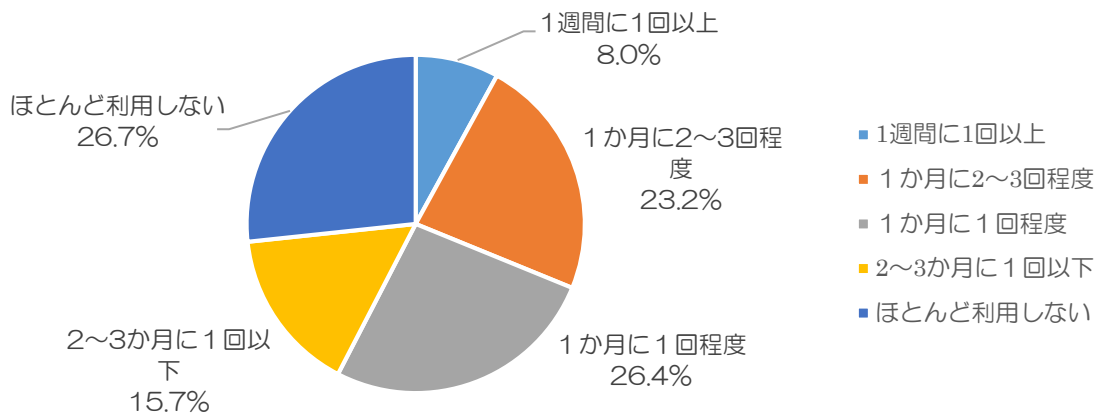


③主な移動手段 (N=386)

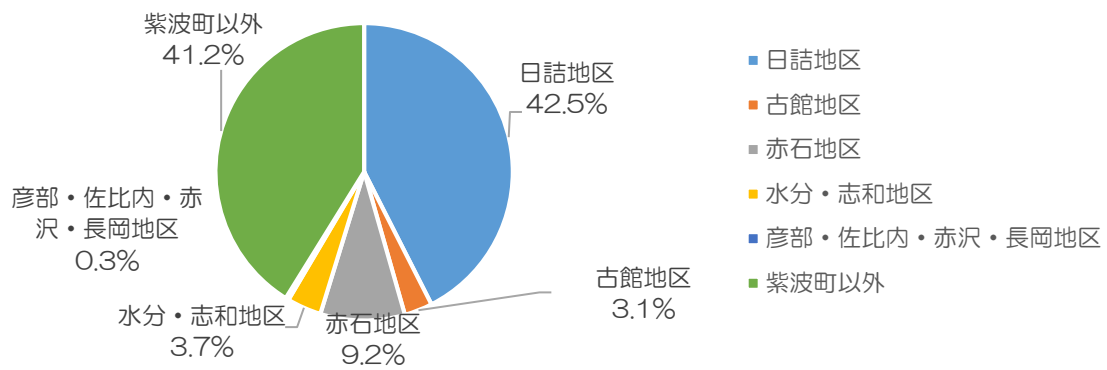


3. 飲食店

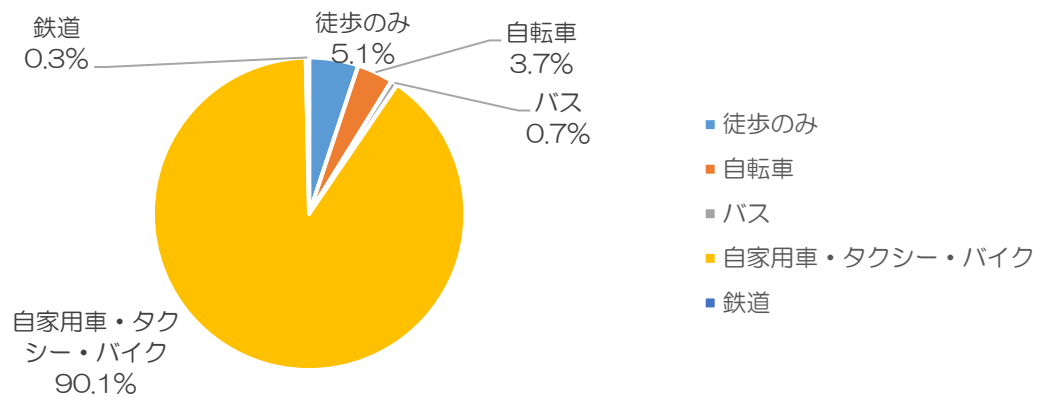
①利用頻度 (N=401)



②所在地 (N=294)

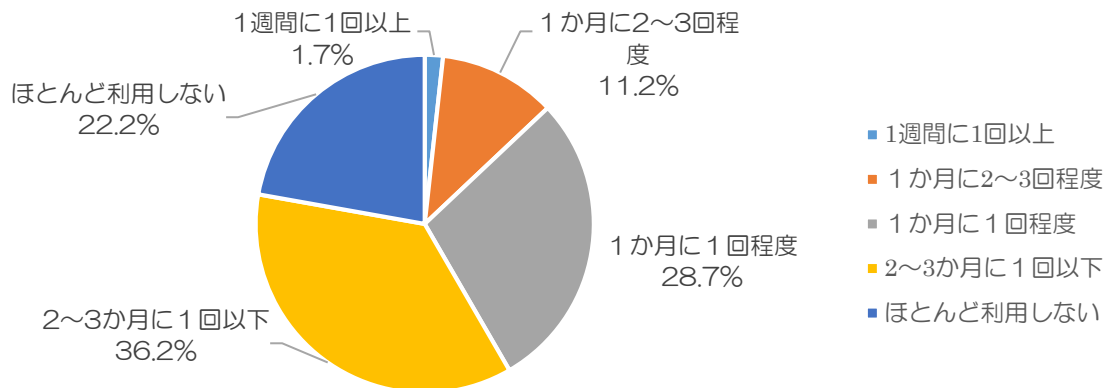


③主な移動手段 (N=294)

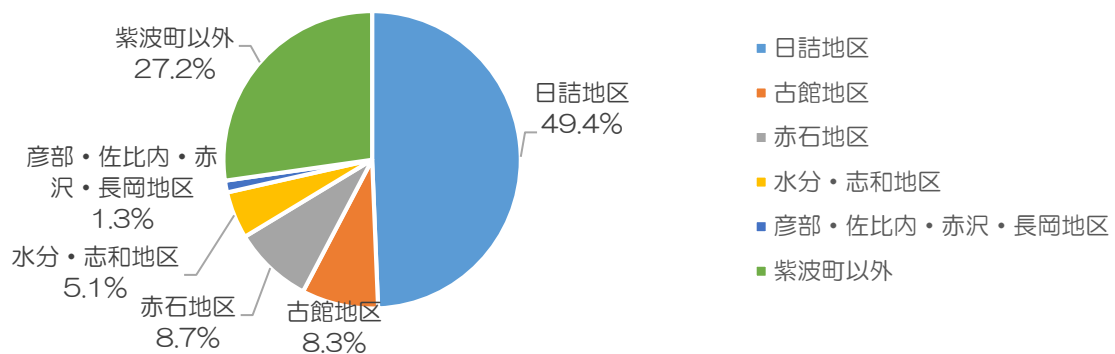


4. 医院（クリニック）・診療所

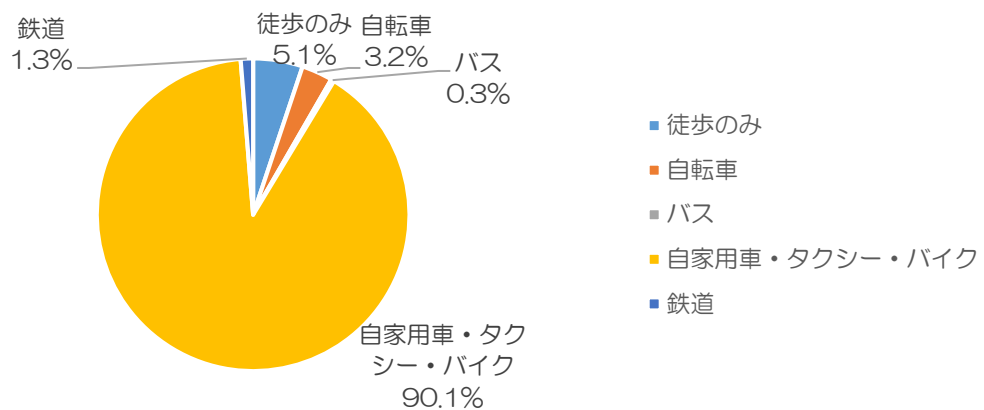
①利用頻度（N=401）



②所在地（N=312）

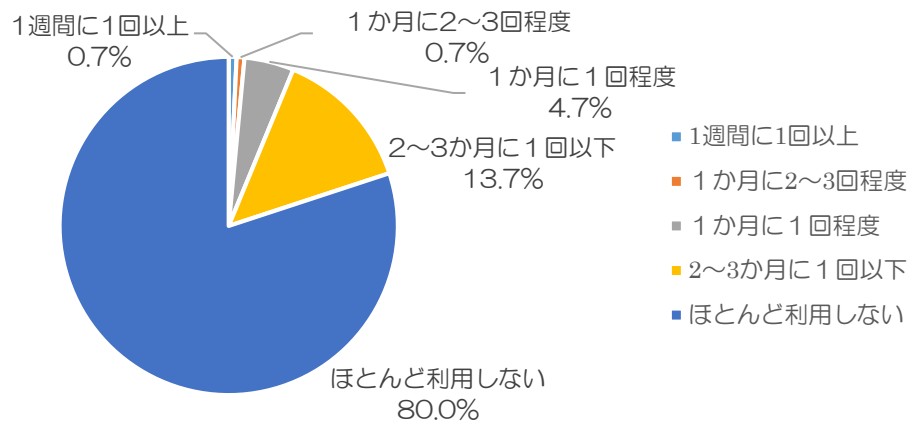


③主な移動手段（N=312）

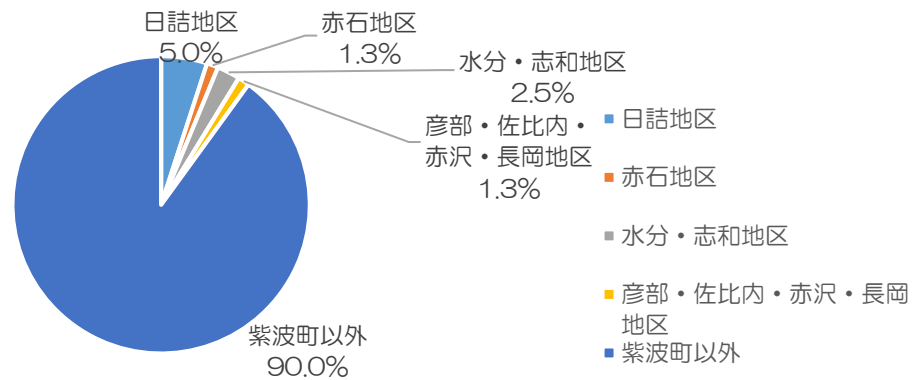


5. 総合病院

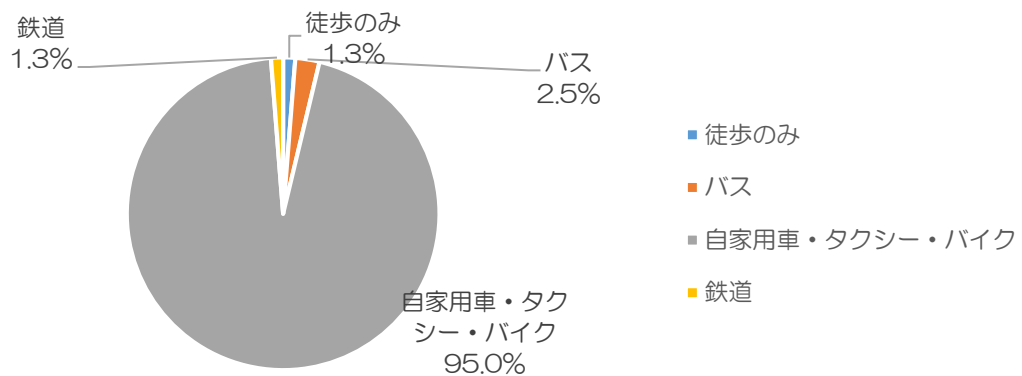
①利用頻度 (N=401)



②所在地 (N=80)

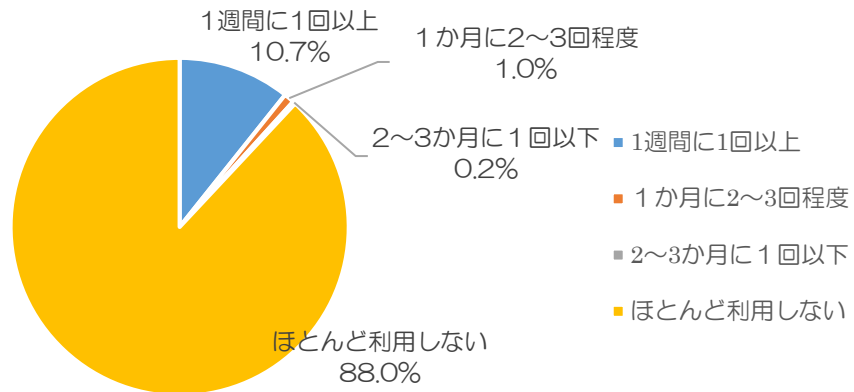


③主な移動手段 (N=80)

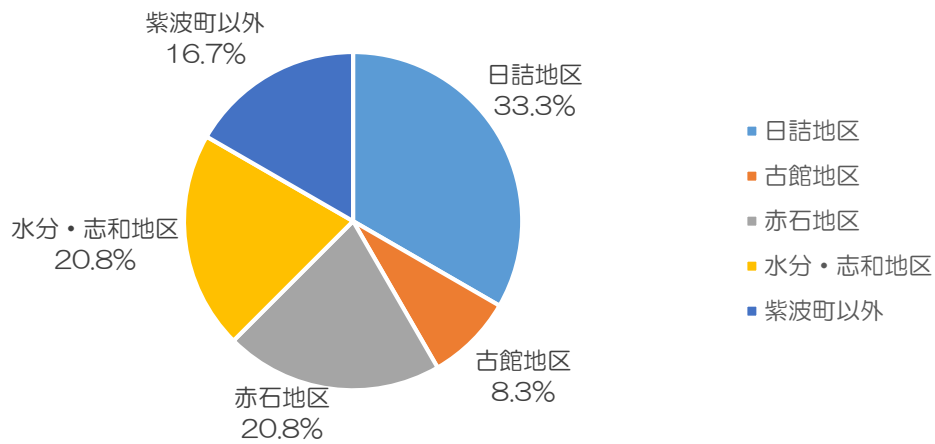


6. 幼稚園・保育園

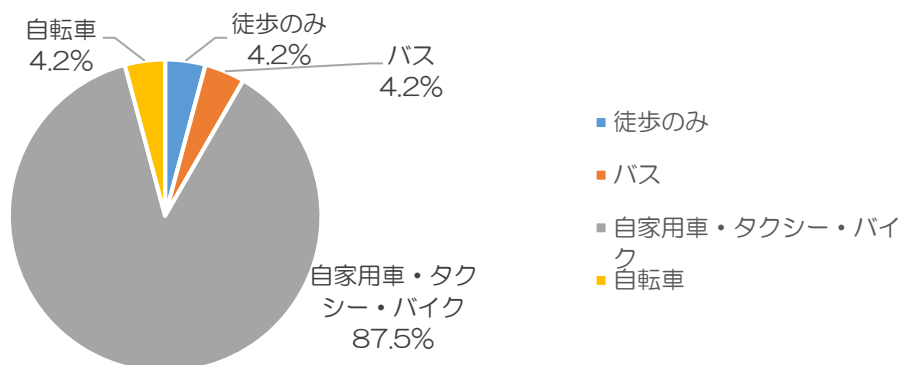
①利用頻度 (N=401)



②所在地 (N=48)

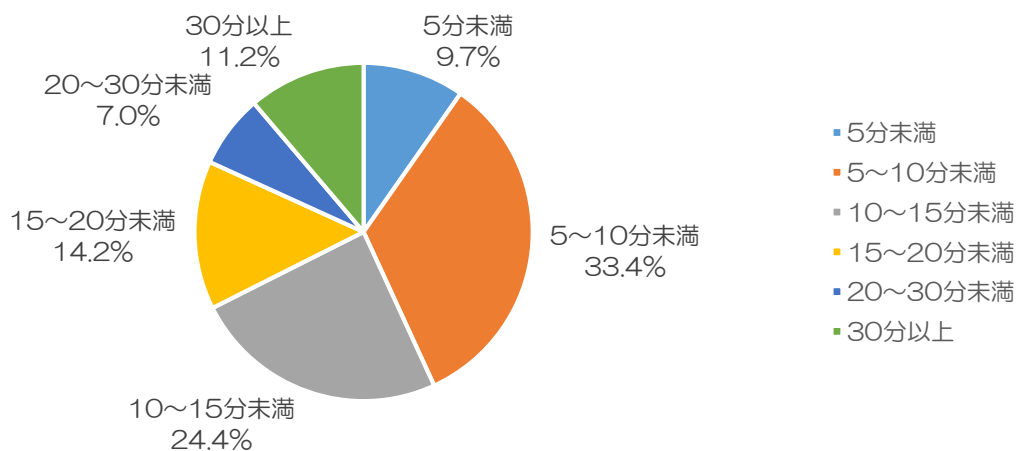


③主な移動手段 (N=48)

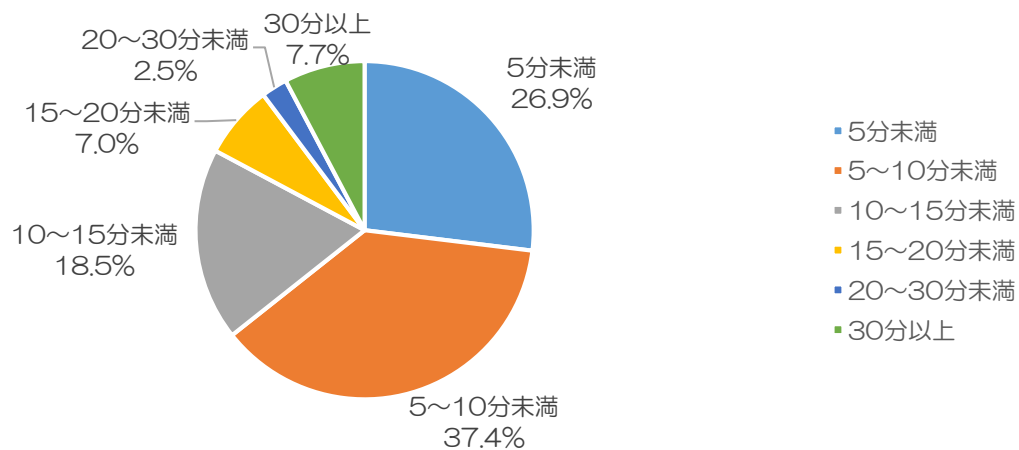


3.3 公共交通の利用条件

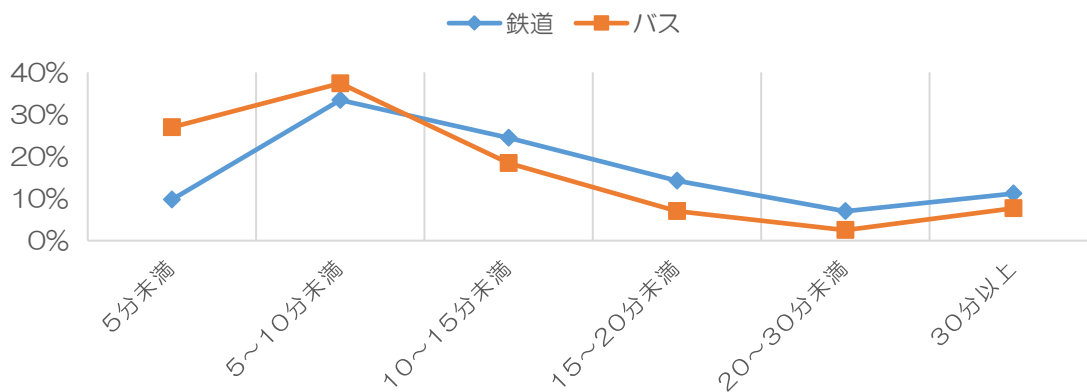
問 13. 自宅から最寄りの鉄道駅まで徒歩でどれくらいの時間なら利用しますか。
(N=401)



問 14. 自宅から最寄りの路線バスのバス停まで徒歩でどれくらいの時間なら利用しますか。(N=401)

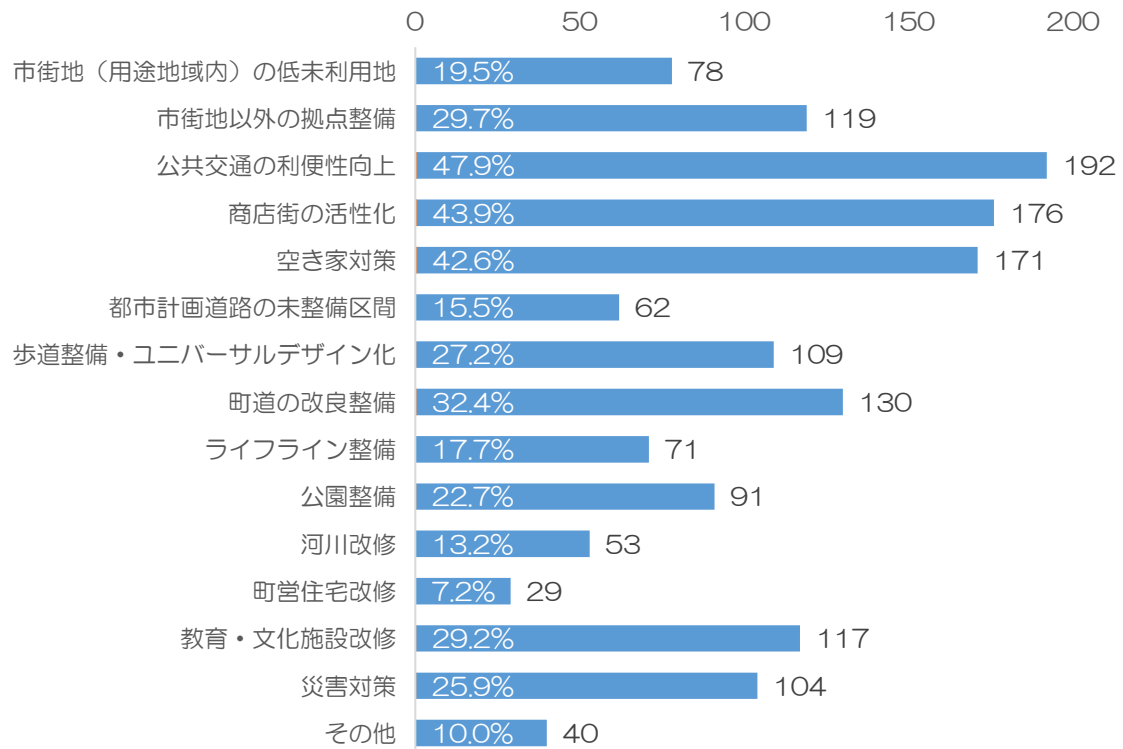


徒歩許容時間の比較（上記円グラフを折れ線グラフ化）



3.4 まちづくりの課題

問 15. 紫波町のまちづくりにおける課題と考えるものは何ですか。（複数回答可）
（N=401）



★まちづくりの課題としては、最多が47.9%で「公共交通の利便性向上」としており、続いて「商店街の活性化」「空き家対策」についても4割以上が課題と認識しています。

★「その他」としては、「学校環境」「観光振興」「企業誘致」「子育て環境」「獣害対策」「町内会負担」「道路環境」「病院誘致」「農業対策」「福祉対策」などの分野について複数の回答がありました。

3.5 まちづくりの意見やアイデア

問 16. 紫波町のまちづくりについて、ご意見やアイデアをお持ちでしたらお聞かせください。（自由意見）（N=159）

★回答記述があった全 159 件のうち、年代、性別、居住地域のバランスを踏まえて 33 件を抜粋し、提案趣旨を違えない範囲で要約、誤字等を修正して記載しています。

★居住地域は、居住地区 9 地区を、東部地域（彦部地区、佐比内地区、赤沢地区、長岡地区）、中央地域（日詰地区、古館地区、赤石地区）、西部地域（水分地区、志和地区）の 3 地域に区分しています。

内 容	年代／性別／居住地域
酒づくりでまちづくりみたいなことをしているが、醸造酒しかない。焼酎やジン、ウォッカ等を既存の醸造所に免許を取ってもらい、蒸溜してもらるか、新しく他の地域から蒸溜所を招聘すべきである。今や日本の蒸溜酒人気は高く、蒸溜所見学を含めた観光需要は高い。蒸溜所見学に加えて紫波町の観光を促す様な施策に取り組むべきである。	30 歳代／男性／中央
紫波町は、盛岡矢巾と北上村崎野の間に位置している利点を活用し、駅回りの人口が増えるよう宅地造成を行っていくべきだと思う。今の盛岡から矢巾間だけを意識した JR の運用に、キチンと物申すべきだ。	30 歳代／男性／中央
高齢化社会になり、高齢者の交通事故は増える傾向で、反面免許返納者も増えているが、紫波町として優遇措置が足りない。しわまる号だけでなくタクシー券の補助等があって良いと思う。	70 歳以上／男性／中央
オガールやひづめゆ等おしゃれなイメージが紫波にはあるので、20～30 代が住みたい街だと思います。医大の職員や学生も住めば人口も増えると思うので、若者や子育て世代をターゲットとして、勉強のできるカフェと本屋、室内でこどもを遊ばせられる施設のような所を整備してほしい。	30 歳代／女性／中央
更なる子育て支援の充実(保育料無償化や産前産後ケアの充実等)	30 歳代／女性／中央
廃校の小学校について ・教室ごとにレンタルスペースにして、若者もそうでない人も起業にチャレンジ。店舗、オフィス。 ・学校すべて、大人も子どもも楽しめるお仕事体験施設。 ・高齢者が心身ともに健康になれる施設。クリニック、ジム、カラオケなど。	40 歳代／女性／中央
オガールの活性化に偏っている感じがするので、日詰商店街などの他の箇所の活性化も図った方がいいと思います。	19 歳以下／男性／中央

子育て政策を推進して、若い世帯の転入を図る。施設や環境は充分に揃っていますので、素地はあると思います。	40 歳代／男性／中央
町民全体の健康促進のため、運動施設の充実に力を入れていただきたい。紫波町として維持が難しいようであれば、空店舗を有効活用していただき、スポーツジムの誘致推進などの取り組みを行なっていただきたい。20～40 代で運動に力を入れる人達は、花巻・矢巾・盛岡へ流れている。	30 歳代／男性／中央
オガールは街に上手く馴染んだなと思う。ほぼ毎日何かしら利用している。赤石地区に人が増えているように思うので、保育園を増やして欲しい。	30 歳代／女性／中央
当たり前のことを当たり前に過ごせるまちづくりを求めます。奇をてらうようなことに予算を割かないでほしい。	40 歳代／男性／中央
廃校再活用の推進。川東、西地域の活性化。学校区割りの見直しによる生徒の分散化。大型商業施設、大手企業の製造工場の誘致による地域活性化、雇用確保の推進。農産物のブランド化。	50 歳代／男性／西部
子ども（0 歳児から未就学児）が遊べる屋内施設や公園が少ない。公園は遊具がなくただの空き地化している。隣の矢巾町は屋内施設もありサポートが充実していると感じるので、紫波町も力を入れて欲しい。	20 歳代／女性／中央
魅力的な個人商店が数多くあることが町の魅力を大きく向上させていると思うので、空き家改修の費用助成など、個人商店の新規開業を応援するような施策を拡充してほしい。	20 歳代／男性／中央
新たに農林業に就く人や、町内で開業したい方に対する教育施設の開設。町の景観(ゴミや空き家、管理の行き届かない土地など)を改善し、町外からの観光や移住などに対するイメージアップ。	30 歳代／男性／中央
地域住民の対話から方向性を見出し、それに対して役場が動ける様な仕組みや窓口・コーディネーターが必要と感じます。その様な地域の声や意見をまとめるコーディネーターを役場サイドで募集してみてもいかがでしょうか？	40 歳代／男性／中央
中央地区ばかり発展して東地区と西地区が廃れているのは行政が悪いという意見があるかもしれませんが、第一次産業が基盤の地域に住宅街ができるはずもなく、東西地区で人口が増えないのは当たり前のことだと思います。これからも中央地区はどんどん住宅を増やして他の市町村からの移住を増やして人口減少対策してください。	40 歳代／男性／中央
中央部に人口が集中して利便性はいいなあと感じていますが、フ	40 歳代／女性／中央

ルーツなど紫波には魅力ある農産物が多いなあとも感じています。後継者不足にならないよう、農業が盛んな地域も生活しやすい環境整備がさらに進むことを期待しています。	
人口減少を抑えるために工業団地の整備を。北上や一関や奥州市は市が率先して大規模な整備を行っています。働く所が無いと若者は他所に出て行くので一時的には財政を圧迫しますが、将来的に見れば人口減少を抑えて企業からの税収及び就業者からの税収が増える事の方が有意義です。	60 歳代／男性／中央
なかなかスポーツが教育の域を出ない。しっかりマネタイズできる仕組みを作ることができれば良いと思う。	30 歳代／男性／中央
閉校した小学校を更に活用してほしいと感じます。子どもの教育や文化に関連する企画やイベント、施設などが更に増えると嬉しいです。	30 歳代／女性／西部
過疎化が急激に進む町の東部・西部の活性化が急務です。東部・西部が廃れたら、町の基幹産業の農業が壊滅的になり、町の特徴が無くなります。今の子育て世代で、元々町の東部・西部に住んでいた住民が中央部に移り子育てしている事例が少なくありません。若者や子育て世代は町の東部・西部に暮らしながら生活しやすいまちづくりに期待します。	30 歳代／女性／西部
観光地などの設置により町外県外からの観光客を増やすべきだと思う。また、大型ショッピングセンターなどを増やすことにより紫波町への移住者を増やすことが出来ると思う。	19 歳以下／男性／西部
ドラッグストアが多すぎる。減らして欲しい。その分の土地を住民が戸建を建てられる土地にして欲しい。もしくは町で買い取って土地として売り出して欲しい。紫波で暮らしながら働きたいと思える企業の誘致。他の市区町村にはない、全国チェーンのお店を誘致。	20 歳代／男性／中央
商店街の活性化。日詰商店街の魅力は何か明確なコンセプトが必要。例えば【郡山宿場町】といったテーマで、街の外観、テーマにあった魅力ある店舗、あるいはイベント、見る、参加できる施設。または盛岡市のようなハンギングバスケットで彩り街の特色づくり。建物、通りに基本カラー指定し統一。	70 歳以上／男性／西部
紫波町の魅力が高まっている今、若者や子育て世代が利用しやすい商業施設を誘致し、盛岡に行かなくてもよいある程度自立したまちづくりにシフトしてよいと思う。	40 歳代／男性／中央
日詰駅の西側を開発して、東西両方から駅を利用できるようにしてはどうでしょうか。	40 歳代／男性／中央

都市化することで住みやすい地域となり、空き家などの問題も減っていくと思います。最近では都市部へ人が集まるようになってるので、このままでは人口が減る一方だと思います。	19 歳以下／女性／中央
子育て教育環境が恵まれていそうなイメージで移住してきましたが、多方面で、大きな公園もなく大きなショッピングモールもなく外食も休日は他市町村に遊びにいき、自宅以外で紫波町の中で過ごすことがまずない家庭はたくさんあると思います。地元にお金を落とすことがない紫波町民がたくさんいるというのは大きな問題でもあると思います。	40 歳代／女性／中央
2030 年の人口減における地区仕組みづくり、各分野で担い手不足対策が必要。	70 歳以上／男性／東部
今は良くても病気やケガ高齢化で車の運転ができなくなる時が必ず来ると思っています。その時になって困らないように現在の公共交通機関について路線網や便数を最低でも維持、できれば拡充していくことが重要と考えます。そのためには使って実績を積み重ねていくしかないと思いますので交通機関を利用すると得をする、あるいは使わなければ参加できないようなイベントやキャンペーンなどをしかけていくことも必要なのかなと思っています。	40 歳代／男性／中央
まちづくりは得てして中央部に対して行っているのではと思える事が多々ある。やはり紫波町全体をみてその地域の良さを引き出し全町民が暮らしやすい町づくりを目指して欲しい！！	60 歳代／女性／東部
中央部以外（東部西部）の地区には生活に必要なものを買い物できる店舗がなく買い物難民状態である。特に一人暮らしや高齢者世帯など家族に運転者がいない家庭は本当に生活に困難を感じる。東部西部地区にも市街地をつくり人口が集まる地区をつくり市街地的な形があったらいいと思う。	70 歳以上／女性／東部

全町民の皆さまへ

紫波町 まちづくり計画に関する アンケート ご協力のお願い

町民の皆さまにおかれましては、日頃より町政の推進にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

町では、都市計画の基本方針を定めた「紫波町都市計画マスタープラン」が、平成25年の策定後10年ほど経過したことから、この間の社会情勢の変化などを踏まえた中間見直しを行うこととしております。

また、これと併せて、人口減少・高齢化社会が進行するなかでも、町民の皆さまが暮らしやすく、持続可能なまちづくりを目指すために「紫波町立地適正化計画」の作成に向けた検討を行っております。

つきましては、町民の皆さまのご意見やご提案を両計画の見直しや作成の参考とさせていただくために、本アンケートを実施することといたしました。

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

令和5年8月 紫波町長 熊谷 泉

【アンケート-1】

お持ち帰りください



ご回答にあたって

- ① このアンケートは全町民の皆さまを対象としています。
- ② 回答内容は全て統計的に処理し、お名前の記入は不要ですので個人が特定されることはありません。
- ③ 回答は、別紙調査票のほか、web(令和5年8月1日～9月10日)でも可能です。下記二次元コードで、パソコンまたはスマートフォンからアンケートフォームにアクセスしてご回答願います。なお、ご回答は、調査票かwebのいずれかの方法で、お一人1回とさせていただきます。
- ④ 調査票へのご記入は黒や青のボールペンをご使用ください。
- ⑤ ご記入が終わった調査票は、各地区公民館に回収ボックスを設置していますので、最寄りの回収ボックスに投函をお願いします。

回収ボックス設置期限 令和5年9月10日(日)まで

webアンケートフォーム
へのアクセスはこちら



都市計画マスタープランとは？

- 「都市計画」とは、①都市が健全に発展するよう適正な制限としての土地利用の仕方、建物のルール、②暮らしを支える道路や公園、下水道などの施設、③土地区画整理事業など、新しいまちを作ったり、作り直したりする事業方法、などが定められたものをいいます。
- 「都市計画マスタープラン」とは、市町村の都市計画に関する基本的な方針のことで、まちの将来の姿と、その実現に向けた方向性や取り組みを示す計画書のことです。

※「紫波町都市計画マスタープラン」は
紫波町HPでご覧いただけます



立地適正化計画とは？

- 全国的に人口減少が進んでいますが、比較的減少割合は小さいものの、紫波町も同じ状況です。人口が減ると、もともと人が住んでいた場所に空き家や空き地といった隙間ができてしまい、町がスポンジのようにスカスカに(人口密度が低く)なってしまいます。町のスポンジ化が進むと、病院や公共交通機関などの経営が成り立たなくなり、皆さんの生活が不自由になってしまいます。
- 「立地適正化計画」とは、町全体の人口が減ってもスポンジ化しないよう(人口密度が低くならないよう)、規制するのではなく誘導によって町をコンパクトにまとめようとする計画です。
- 公共交通沿線などに「居住誘導区域」や「都市機能誘導区域」を定め、生活利便施設である「誘導施設」が立地するように「誘導施策」を検討します。
- これらの取り組みでまちの人口密度が保たれると生活利便施設や公共交通機関も安定した運営ができるようになり、人々は暮らしやすい場所で便利に生活を続けることができます。

※立地適正化計画の概要は、
国土交通省HPでご覧いただけます



〈本アンケートに関するお問い合わせ先〉

建設部都市計画課 ☎ 019-672-6914 (直通) ✉ toshikei@town.shiwa.iwate.jp

【アンケート-2】

はじめに、あなた自身のことについて、おたずねします。

問1. あなたの年齢について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | | |
|----------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 | 5. 50歳代 |
| 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 | | | |

問2. あなたの性別について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3. あなたの就業形態について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|------------|------------|-----------------------|-------|
| 1. 自営・個人事業 | 2. 会社員・公務員 | 3. 派遣社員・アルバイト・パートタイマー | 4. 学生 |
| 5. 家事専業 | 6. 無職 | 7. その他() | |

問4. あなたの就業分野について、該当する番号に○印をつけてください。(学生、家事専業などは除く)

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 製造業・建設業 | 3. サービス業・小売業 |
| 4. 医療・福祉業 | 5. その他() | |

問5. あなたの居住地区について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | | |
|------------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 日詰地区 | 2. 古館地区 | 3. 水分地区 | 4. 志和地区 | 5. 赤石地区 |
| 6. 彦部地区 | 7. 佐比内地区 | 8. 赤沢地区 | 9. 長岡地区 | |
| 10. その他() | | | | |

問6. あなたの紫波町での通算居住歴について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | |

問7. あなたのお住まいの種類について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | |
|--------------|-------------|--------------|
| 1. 戸建住宅(持ち家) | 2. 戸建住宅(賃貸) | 3. 集合住宅(持ち家) |
| 4. 集合住宅(賃貸) | 5. 社宅・学生寮 | 6. その他() |

問8. あなたの世帯構成について、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦のみ | 3. 子と同居 | 4. 親と同居 | 5. 三世代以上 | 6. その他() |
|-------|---------|---------|---------|----------|-----------|

お住まいの地区について、おたずねします。

問9. あなたは現在お住まいの地区に住み続けたいと思いますか。該当する番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 町内の他地区に移りたい() 地区) |
| 3. 町外に移りたい | 4. わからない |

(問9で1. と回答した方にのみ、おたずねします。)

問10. 住み続けたいと思う理由を選んで○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------------|--------------------|---------------|
| 1. 先祖代々住んでいるから | 2. 近くに親戚や友人が多くいるから | |
| 3. 家や土地を持っているから | 4. 周辺環境に不満がないから | |
| 5. 買い物に便利だから | 6. 通勤通学に便利だから | 7. 子育て環境が良いから |
| 8. 医療施設や福祉施設などが利用しやすいから | 9. 自然災害の危険性が低いから | |
| 10. その他() | | |

(問9で2,3. と回答した方にのみ、おたずねします。)

問11-1. お住まいを移したい理由を選んで○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------------------|------------------------|---------------|
| 1. 公共交通が不便だから | 2. 買い物が不便だから | 3. 通勤通学が不便だから |
| 4. 医療施設や福祉施設の利用が不便だから | 5. 子育て環境が良くないから | |
| 6. 自然災害の危険性が高いから | 7. 道路公園など都市基盤が整っていないから | |
| 8. 住宅に不満があるから | 9. その他() | |

(問9で2,3. と回答した方にのみ、おたずねします。)

問11-2. お住まいを移す場合、どのような場所が良いと思うかを選んで○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------|---------------|------------------|
| 1. 鉄道駅の近く | 2. バス停の近く | 3. スーパーなど食料品店の近く |
| 4. 病院や診療所の近く | 5. 幼稚園や保育園の近く | 6. 小学校や中学校の近く |
| 7. 図書館や公民館の近く | 8. 職場の近く | 9. 災害の危険性が低いところ |
| 10. その他() | | |

日常生活の中で利用する施設について、おたずねします。

問12. あなたは日常生活の中で実際にどのような施設を利用していますか。

以下の1から6までの6種類の施設の ①利用頻度 ②所在地、そこに行くときの ③主な移動手段について、太枠内のあてはまるものを1つ選び○印をつけてください。①の欄で「ほとんど利用しない」を選択した場合は、②③をご回答いただく必要はありません。

施設の種類	①利用頻度					②所在地					③主な移動手段				
	1週間に1回以上	1カ月に2〜3回程度	1カ月に1回程度	2〜3カ月に1回以下	ほとんど利用しない	紫波町内					徒歩のみ	自転車	バス	自家用車・タクシー・バイク	鉄道
						日詰地区	古館地区	赤石地区	水分・志和地区	彦部佐比内・赤沢・義岡地区					
(記入例) コンビニエンスストア ①1週間に3回 ②日詰 ③自転車の場合	○					○						○			
1. コンビニエンスストア・個人商店															
2. スーパー・ドラッグストア・ショッピングセンター															
3. 飲食店															
4. 医院(クリニック)・診療所															
5. 総合病院															
6. 幼稚園・保育園															

〔アンケート-4〕

公共交通に関するお考えについて、おたずねします。

問 13. 自宅から最寄りの鉄道駅まで徒歩でどれくらいの時間なら利用しますか。
普段の利用の有無に関わらず、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5～10分未満 | 3. 10～15分未満 | 4. 15～20分未満 |
| 5. 20～30分未満 | 6. 30分以上 | | |

問 14. 自宅から最寄りの路線バスのバス停まで徒歩でどれくらいの時間なら利用しますか。
普段の利用の有無に関わらず、該当する番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5～10分未満 | 3. 10～15分未満 | 4. 15～20分未満 |
| 5. 20～30分未満 | 6. 30分以上 | | |

紫波町のまちづくりについて、おたずねします。

問 15. 紫波町のまちづくりにおける課題と考えるものに○印をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---------------|
| 1. 市街地(用途地域 ^(※1) 内)の低未利用地 | 2. 市街地以外の拠点整備 | |
| 3. 公共交通の利便性向上 | 4. 商店街の活性化 | 5. 空き家対策 |
| 6. 都市計画道路 ^(※2) の未整備区間 | 7. 歩道整備・ユニバーサルデザイン化 ^(※3) | |
| 8. 町道の改良舗装 | 9. ライフライン整備 ^(※4) | 10. 公園整備 |
| 11. 河川改修 | 12. 町営住宅改修 | 13. 教育・文化施設改修 |
| 14. 災害対策 | | |
| 15. その他() | | |

(※1) 建築物の用途、形態などに制限を定める地域で都市計画法の地域地区のひとつ

(※2) 将来的に整備が予定される道路で、県や市町村が都市計画法に基づいて定めたもの

(※3) 段差解消など、障がいの有無などに関わらず、全ての人が利用しやすい空間デザインのこと

(※4) 電気、ガス、上下水道、通信など生活を維持する上で最低限必要な設備のこと

問 16. 紫波町のまちづくりについて、ご意見やアイデアをお持ちでしたらお聞かせください。(自由意見)

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。